

議題提案書

【○】協議事項

議題名：TICAD VI の日本の取組実施における NGO との協力

【提案者氏名、所属】

氏名：稲場雅紀

所属：アフリカ日本協議会

【議題提案の背景説明】

8 月 27-28 日にケニアのナイロビで開催された「TICAD VI」では、採択された「ナイロビ宣言」の 3 つの柱（1：経済の多角化・産業化を通じた経済構造改革の促進、2：質の高い生活のための強靱な保健システム促進、3：繁栄の共有のための社会安定化促進）にそって、「TICAD VI における我が国取組」がまとめられています。（資料添付）

「ナイロビ宣言」の 3 つの柱は、いずれも日本およびアフリカの NGO が取り組んできた課題でもあり、これまで TICAD に取り組んできた日本の NGO としても、今後、日本政府、共催団体、関連国連機関、アフリカの NGO との連携の下、実施にも積極的に参入していきたいと考えています。具体的には、以下のようなものがあります。

- ① 経済の多角化・産業化：農業に関する人材育成、農村と市場を繋ぐ生活インフラ支援、女性の起業や経済参画の支援・収入向上活動、アフリカにおける企業の社会的責任の概念の普及 等
- ② 強靱な保健システム促進：公衆衛生危機・感染症対策のためのコミュニティ人材の育成、プライマリー・ヘルス・ケアの取り組みを通じた基礎的保健サービスへのアクセスの拡大、グローバルファンドの三大感染症対策への参加、等
- ③ 繁栄の共有に向けた社会安定化：平和構築、紛争予防、そのためのコミュニティ人材の育成、気候変動に関わるコミュニティ人材の育成、低炭素エネルギーシステムの供給、他

これらについて、TICAD に取り組んできた日本の NGO として、より積極的に取り組みたいと考えていますが、TICAD における NGO の実施への参入の在り方や位置づけについて、この機会を借りてお伺いできれば幸いです。

【議題論点（外務省と議論したい点）】

- ① TICAD VI の実施枠組みにおける NGO の位置づけについて
- ② TICAD VI の実施に関する NGO の実績のカウントについて
- ③ TICAD VI の実施に関わる NGO のプロジェクトに関する、NGO 連携スキームのより柔軟な運用の可能性について

【外務省への事前質問】

- ① 上記課題については、「TICAD VI における我が国取組」として、一定の数値目標が立っています。この数値目標については、どのような実施計画に基づいて、どのようにカウントし、フォローアップしていくことになりますか。また、その中で、NGO の事業実施の取り組みはどのような位置づけを持っていますか。
- ② NGO が自ら積極的に、上記 TICAD VI の数値目標達成に貢献したい場合、TICAD VI の実施フレームワークの中でどのような位置づけを受け、どのような形で実績を報告し、評価さ

NGO・外務省定期協議会 2016 年度「第 2 回連携推進委員会」 配布資料

れ、実績をカウントに加算できるのかを教えてください。

- ③ 今後、TICAD VI の実施フレームワークに積極的に参入して事業を行いたい NGO が複数出てきた場合、TICAD の実施において何らかの位置づけを得ることを検討できますか？
- ④ TICAD VI の実施を NGO が積極的に担う場合、NGO からの具体的な提案に応じて、NGO 連携無償、その他の NGO 連携スキームをより柔軟に運用していただける可能性はありますか。（資金の増額、案件の複数年度化、その他）

⑤

【出席を希望する外務省部局または担当者】

（参考）外務省 組織案内 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/sosiki/>

外務省アフリカ部 アフリカ第 2 課
外務省国際協力局民間援助連携室
外務省国際協力局国別開発協力第 3 課

以上